

事務事業外部評価シート

事務事業名	高齢者自家用バス運賃助成事業	担当課・係	いきいき高齢課 高齢福祉係
-------	----------------	-------	---------------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
高齢者の移動手段の確保と、外出支援を図るため、70歳以上の方に、市営バス寿券を発行し乗車運賃の半額を助成する。 一人あたり年間40枚の運賃助成券を交付。	対象 70歳以上の方	基本目標	やさしくふれあいのある健康福祉づくり
		政策	助け合い生きがいを実現できるまちづくり
		施策	豊かで健やかな長寿社会の実現
		基本事業	生きがいづくりと社会参加の促進
意図 外出機会を確保し、健康を保ち、生きがいを持つ。	事業期間		
	平成20年度～		
	根拠法令・条例等		
	佐野市高齢者自家用有償バス運賃助成要綱		

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策体系に結びついてはいるが、利用実態の把握や免許を返還した方への無償配布などの見直し・検討をするべきであると考えられる。</li> <li>・70歳以上を75歳へと対象を引き上げたところで、元気な高齢者でないとなかなかバスに乗ることも難しいと考えられるため、70歳以上を対象として事業を実施していくべきであると思われる。</li> <li>・まずは、事業の統合などは考えず、事務事業の効果・実態把握などを追及する必要があると思われる。</li> <li>・現在、年齢ごとの利用者数を把握できていない現状があるため、助成券を年齢別で色分けするなど工夫して数値の把握をし、効果的な運用を検討するべきであると考えられる。</li> <li>・無償配布ではなく有償配布にすることで、高齢者の社会参加の実態が把握できると思われる。</li> <li>・受益者負担は適当であるが、運転免許証の返還者には全額補助をするなどの、政策として効果的な運用を検討する必要があると考えられる。</li> </ul>

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の実態把握(券を色で区別したりナンバリングするなど)をすることでこの事務事業をより効果的に実施していくことができると思われる。</li> <li>・運転免許証を返還した方には全額補助をするなど、政策として効果的な運営方法を検討する必要がある。</li> </ul>

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(成果向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(外部評価のとおり)</li> <li>・政策的な事業運営を考えるうえで、実態を分析できるような方策を検討する。</li> </ul>